

# 公立大学法人大阪 令和2事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
(事務局 大阪府府民文化部府民文化総務課)

公立大学法人大阪の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市公立大学法人大阪評価委員会による評価を受けることとなっており、令和3年8月17日に開催された令和3年度第4回評価委員会において、令和2事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

## 全体評価 「おおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

- 大項目について、4項目がA評価（計画どおり進捗）、3項目がB評価（おおむね計画どおり進捗）、1項目がC評価（やや遅れている）であることを確認した。
- 委員会コメント  
全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗していると評価できる。評価にあたっての意見、指摘等を踏まえ、引き続き中期計画及び年度計画の達成に向けた取り組みを期待する。また、年度計画を十分に実施できていない項目については、次年度以降適切に取り組みを進められたい。

大項目	評価					主な判断理由・特記事項
	S	A	B	C	D	
大阪府立大学の教育研究	S	A	B	C	D	各種国家試験合格率における獣医師の合格率や研究成果の発信に係る取組における特許出願件数等が目標未達成であるものの、SA（スチューデントアシスタント）・TA（ティーチングアシスタント）の配置等による教育の事務的支援の拡充や21世紀科学研究センターを活用した研究体制の拡充などが年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画通りの進捗が認められた。
大阪市立大学の教育研究	S	A	B	C	D	先端的研究分野での外部資金の獲得など、共同・受託研究件数や外部資金獲得金額が大きく目標を上回っている。また、附属病院における、コロナ重症患者の受入・治療等の新型コロナウイルス感染症の対応なども年度計画を大幅に上回って実施しており、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
大阪府立大学工業高等専門学校 の教育研究	S	A	B	C	D	カリキュラムポリシーの整備が年度内に作成できなかったなど、年度計画通りの進捗が認められない取組はあるものの、高専の将来像となる高専改革案を策定したことが評価に値する等、他の項目も総合的に判断し、おおむね計画どおりの進捗が認められた。
業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D	データ等に基づく迅速な意思決定を行うための組織的なデータ収集等の取組の一部が計画通り実施できていないものの、学長・校長がリーダーシップを発揮できる運営体制の構築が年度計画を上回って実施しているなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
財務内容の 改善	S	A	B	C	D	自己収入の確保や寄付金確保の取組が年度計画を上回って実施していることや、当期総利益については法人の経営努力が認められることなど、他の項目も総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
自己点検・評価 及び情報提供	S	A	B	C	D	戦略的な研究広報における研究プレスリリースの件数が年度計画を上回って実施しているものの、法人情報の提供や市立大学における広報活動において、目標に達していなかったことなどを総合的に判断し、計画がやや遅れていると認められた。
その他業務運営に 関する重要目標	S	A	B	C	D	その他業務運営に関する重要目標について、全ての取組において年度計画を順調に実施していることなど、総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。
両大学の統合等に 関する重要目標	S	A	B	C	D	両大学の統合等に関する重要目標について、新大学開学に向けての準備を着実に実施している等、全ての取組において年度計画を順調に実施していることなど、総合的に判断し、計画どおりの進捗が認められた。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり

※評価にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響により取組に遅れ等の影響が生じたもの、代替的な取組を実施したものについては、その状況を踏まえ評価を行い、当初予定の取組及び代替的な取組が実施できなかった一部項目については、評価不能とした。